

# 校長通信「学ばん共に」



その6 旅の出会いに感謝

(2022/5/26)

(野外活動帰校式 校長の話)

旅には出会いがあります。「あいさつを交わす」「笑顔で接する」それだけでも出会いです。言葉がかわせば、出会いはさらに深いものになります。野外活動中に、私が出会った二人の人物とのエピソードや、その時に私が感じたことについて、お話ししたいと思います。

最終日、朝食の後、レストランで働く方に「3日間お世話になりました」と、あいさつしました。そして「何時から朝食の準備をされているんですか」と尋ねたところ、5時からだと伺いました。毎朝、私たちのために、大変なお仕事をされているんだなあと、あらためて感じました。笑顔のすてきな年配の女性でした。退所式で、片付けが素晴らしいと褒めてくださった、藤原さんの顔を、皆さん覚えていますか。野外炊飯の説明やかまどに火をつけるお手伝いしてくださった方です。なんとなくでもいいので覚えている人？…ありがとう…実は彼と出会うのは、私は2度目でした。昨年12月に野外活動で会って少し世間話をしました。彼はもともと愛知県の高校の先生で、3年間青少年交流の家に勤めているそうです。今年が最後だと伺い、「お疲れ様でした。学校現場に戻れますね。」と私が言ったら、「いや、本当はもっとここにいたいんです。ここは素晴らしいところです。大自然と子供たちの笑顔に癒されます。」…そんな答えが帰ってきました。そして、帰りのバスに乗り込む時、私のところに歩み寄ってきて、「いい学校には、特別に見送りがついてきます。」とユーモアたっぷりに話してくれました。もちろん、彼らは全ての学校に対して手を振って見送ってくれます。ちょっといい出会いだったのでみなさんにも二人のことを紹介しました。

「自然を実感する」「仲間と協力する」「ルールを守る」「困難に打ち勝つ」野外活動の目的を簡潔に四つ、出発式で私が話したのを覚えている人？…ありがとう…そして、私が予想した通り、皆さんはこの四つとも十分達成しました…私はそう確信してい

ます。誠実で一生懸命な可美中の2年生…私はこの3日間で、この学年の良さ、そして先生方との絆を強く感じました。そんな、みなさんの姿が小さな奇跡を生み出しました。思い出してください。全体写真を撮る時、雲の切れ間から姿をみせてくれた富士山。キャンプファイヤーで夜空に光っていた星々…そして、雨が降らず、さわやかな初夏の風が吹いていたこと…変わりやすい山の天気のことを考えると、この3日間は、本当に恵まれた環境であったと思います。大変なこともたくさんありましたが、それだけに思い出深い旅になったのではないのでしょうか。でも、たぶん、みなさんとはもう1度旅をすることになるでしょう。それは1年後の、京都・奈良修学旅行です。その旅のスタートは、6月27日月曜日です。その日の午後に、3年生が修学旅行の報告会を2年生対象にしてくれます。3年生の一人一人から語られる言葉を…是非、楽しみにしてください。

最後にもう一つ。この3日間可美中HPで野外活動の記事を掲載しましたが、そのアクセス数は初日が441、2日目は437、最終日が388でした。合計アクセス数は1265です。観てくださったのは…保護者・地域の方・そして可美中1・3年生…コロナ禍の中、野外活動でがんばる2年生を応援して下さった方々です。心から感謝したいと思います。まだ、観ていない人は是非観てください。そして朝早く見送りに来て下さったり、帰りに迎えに来て下さったりした家族への感謝も決して忘れてはならないと思います。私の話は以上です。最後まで聞いてくれて、ありがとうございました。

(北村健治)



富士ミルクランドにて